

## 平成27年度 大学の世界展開力強化事業 審査結果表

大 学 名	筑波大学	主たる交流先	中南米諸国
事 業 名	持続的な社会の安全・安心に貢献するトランスパシフィック協働人材育成プログラム		

### 〔評価コメント〕

本事業計画は、メキシコ、コロンビア、ペルー、チリ及びブラジルの中南米5カ国の大学と共同で教育プログラムを実施し、持続的発展と地球規模課題の解決に向けて広く社会の安定に貢献できる中核的な実務人材の育成を目的としたものであり、世界に開かれた大学づくりという国際化の目標を明確にし、これまでのグローバル30、大学の世界展開力強化事業等による大学の国際化の実績に加えて、中南米諸国の大学との協働教育プログラムを開発しようとする意欲的な取組である。その展開に当たっても、ブラジルに設置している拠点オフィスを活用し、連携実績のある社団法人ラテンアメリカ協会やブラジル日本商工会議所、ブラジル日本文化福祉協会とのパートナーシップを活かした体制で実施する計画となっており、高く評価できる。

また、学生の環境整備については、既にグローバル30により受入学生支援体制を整備し、同時に経済社会の発展を牽引するグローバル人材育成支援を通じて学生の海外派遣の拡大・強化を進め、受入・派遣ともに質の高い支援を提供しており、日本と中南米諸国の学生が互いの言語と文化を学ぶことで、短期研修・長期交換留学を積極的に活用した協働教育プログラムに主体的・能動的に参加し、フィールドを通じて求められる資質・能力を獲得することが期待できる。

一方で、カリキュラムの面では、5カ国に共通する課題について十分に掘り下げられているとは言えず、中南米諸国のニーズを踏まえた大学間交流事業計画であるという点から、各国のニーズについて十分検討の上、相手大学との協議の中で更なる課題の深化が望まれる。

最後に、今回「大学の世界展開力強化事業」に採択された貴学におかれては、将来の日本と中南米諸国との関係を見据え、中南米諸国との間の架け橋となるリーダー人材の育成に中心となって取り組む拠点大学であるということの意義とその責任、期待の重さを認識し、事業内容の実現に向け真摯に取り組まれることを強く要請する。